

創立
1975

情報と人をつなげる

株式会社 日本歯科新聞社

・株式会社日本歯科新聞社

2

・代表 水野純治の横顔

18

・設立者 水野治雄の横顔

24

株式会社

日本歯科新聞社

ニホンシカシンブンシャ



本社所在地	〒 101-0061 東京都千代田区神田 三崎町 2-15-2
電話番号	03-3234-2475
FAX	03-3234-2477
業態	出版業
歴代代表者	水野治雄（～ 2002 年） 水野純治（2002 年～）
創立年 （法人登記）	1975 年
資本金	10,000,000 円
従業員数	20 人（2021 年 4 月 1 日現在）
所属団体	厚生労働省記者クラブ 日本歯学図書出版協会 日本歯科記者会
事務局	日本歯科コンピュータ 協会事務局

本社の歴史

日本歯科新聞社が法人登記したのは1975年12月8日で、この日を設立日としている。しかし、主力媒体は67年に臨床通信社が創刊した『臨床通信歯科版』が前身となる。翌68年に『日本歯科新聞』に改題。76年2月11日付の新聞から発行所名が臨床通信社から日本歯科新聞社に変わり、新聞事業を引き継いでいる。このころの会社の所在地は九段下駅近くの東京都千代田区神田神保町だった。

ちなみに国会図書館に現存する一番古い日本歯科新聞は、71年9月25日付。当時はタブロイド版で毎月10、20、30日に発行する旬刊だった。その後、75年に日刊紙と同じ大きさのブランケット版に移行し、89年に毎週火曜日発行の「週刊」となった。

また、別の媒体としては88年に、週2回配信のFAXサービス『JDニュース』を発刊し、95年に日刊となり、現在の『日刊歯科通信』に改称している。

94年には、歯科医院経営・総合情報月刊誌『アポロニア21』を創刊。学術書とは異なる視点から経営に役立つ情報を多角的に提供するよう努めてきた。

イベント

イベントの開催等にも取り組んでおり、84年に「歯科コンピュータショー」を主催。99年からは日本歯科コンピュータ協会主催展示会の運営事務局を務めている。2012年には、歯科医院のデザイン、インテリア、エクステリア関連の展示会「医院デザインフェア」を開き、以後、ほぼ毎年開催している。

所在地

会社の所在地は、最初の九段下ビル（神田神保町）から81年に川口屋ビル（神田三崎町）、98年より水道橋駅近くの八木ビル（同）に移転。2012年に川口屋ビル向かいのビルを購入し、本社ビルとした。

新社屋では新たにセミナールームを設け、セミナーの企画・開催や外部貸し出しサービスなどセミナー事業を13年から本格的に開始している。

現在

2002年、日本歯科新聞社設立時の社長の水野治雄の死去に伴い、水野純治が社長に就任。新事業として歯科セミナー情報検索サイト「歯科プロ」の立ち上げや、電子媒体の活用を検討・推進などに注力し、「歯科医療の健全な発展に向けた情報提供」に引き続き努めている。

本社所在地の変遷

臨床通信社時代から東京都千代田区神田に所在地を置いていた。

九段下ビル（東京都千代田区神田神保町3）[01](#)

川口屋ビル（東京都千代田区三崎町2-14-2）1981年～[02](#)

八木ビル（東京都千代田区三崎町2-20-4）1998年～[03](#)

JDNビル（東京都千代田区神田三崎町2-15-2）2012年9月～[04](#)



[04](#) JDNビル。

Japan Dental News の頭文字をビル名とした。1階が受付兼事務、2階が各編集部、3階がセミナールーム、4階にインタビュールームと社長室がある。地下は倉庫となっている。元は専門学校なので、各部屋は教室であった。そのため防音効果が高く、3階のセミナールームでは頻繁にセミナーが行われているが、音が漏れることはまずない。



[01](#) 最初の所在地だった九段下ビル（今川小路共同建築）。設計：南省吾、施工：上遠組、建築年：昭和2年、RC3。関東大震災での死者のうち約80%以上の方が火災で亡くなったために、都市の鉄筋コンクリート化を推進していた後藤新平や渋沢栄一の指導のもと復興事業が行われた。その中で、国からの補助金を受けて、数名の建築主たちが共同で土地を買い共同建築した建物が、この九段下ビルだった。2012年（平成24年）には、その前年に起こった東日本大震災を機に安全性が問われ、惜しまれつつも解体されることになった。最後の居住者であった画家によって展覧会が行われたり、SNSではハッシュタグ「#九段下ビル」でたくさんの惜しみ声があがったりなど、話題になったらしい。

左/[02](#) 川口屋ビル川口屋ビル時代は、2F（事務）、3F（記者）、5F（編集）の3フロアを借りていた。

右/[03](#) 総面積がより広い八木ビルへ。4Fを、①事務、記者、編集、②応接室に区切り、地下の一部は倉庫として借りていた。



今週号の主な内容

ATの創設準備を
決定 **2**

長予備選挙の結果(千葉、大阪) **2**

大臣被表彰者191人を公表 **4**

が定期歯科健診の受診に影響 **5**

会長の **5**



聞かせて』 **5**

：歯科口腔外科) **5**



会長選挙に現職の住友氏のみ立候補 **7**

院内感染対策費

衛生用品費が35%増加

問診等を含めた診療時間等

	平均時間	
	令和3年 1月	令和2年 1月
予定予約枠時間	30.7 分	28.8 分
受付から会計までの総時間	40.8 分	37.8 分
次の患者誘導までの時間	7.1 分	4.3 分

※有意差あり

歯科材料費

	平均値		
	令和3年 1月	令和2年 1月	対前年 度比
歯科材料費	571,125 円	478,144 円	1.19
うち衛生 用品費用	101,388 円	75,083 円	1.35

※有意差あり

令和2年度中に新規購入および購入予定の物品

品名	回答者 数	平均値	
		購入数	購入額
オートクレーブ	40	1.0	389,250 円
タービン	94	3.7	252,675 円
コントラ	86	3.0	200,288 円
口腔外バキューム	65	1.5	705,355 円
換気システム・空気清浄機など	112	2.5	342,683 円
自動検温装置	83	1.4	46,334 円
自動ドアなど	5	1.0	247,600 円
トイレ改修費など	24	1.1	250,660 円

医療廃棄物処理にかかる費用

	平均値	
	令和3年 1月	令和2年 1月
医療廃棄物 処理費用	11,321 円	8,818 円

※有意差あり

調査は
師会役員
員、日歯
対象とし
実施し、
から有効
は日本歯
担当。
は、対前
今年1

院内感染対策によって、歯科材料費は1カ月約10万円増加し、衛生用品は対前年度比35%増となっている。日本歯科医師会(堀憲昭)「院内感染対策費に関する調査報告書」によると、診療予約準備時間の増加、対策のため新規購入した物品の平均額が90万円などの結果が出ている。22日の定例記者会見で報告があった。

「材料費」や「診療時

日本歯科新聞

2021年(令和3年)

4月27日

<発行所>
日本歯科新聞社

〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町2-15-2
電話 03(3234)2475



水野純治・みずのじゅんじ

株式会社日本歯科新聞社
代表取締役

水野純治社長に聞く 日本歯科新聞社とは？

——経営理念は

水野 「歯科界の健全な発展に寄与する情報発信」です。

——主な事業は

水野 1965年に創刊した、週刊の『日本歯科新聞』、1994年創刊の月刊歯科医院経営・総合情報誌『アポロニア21』の発行が大きな事業の柱です。

さらに、主に経営をテーマとした書籍の発

行や、「医院デザインフェア」やセミナーなどのイベント運営、業界団体の広報誌や記念誌の受託、事務局の受託なども行っています。

——『日本歯科新聞』の特徴は

水野 厚生労働省の各種審議会や歯科医師会の活動など歯科医療政策から、研究成果、歯科医療器材などの最新トピックス、歯科技工現場の取り組みなど幅広い情報を掲載し、歯科医療関係者の情報プラットフォームを目指しています。

また、対談やインタビューなどでは歯科界の課題について多角的に掘り下げ、議論が分かれるテーマについては双方の意見を載せるなど中立性を意識しています。

——『アポロニア21』は



現存する一番古い日本歯科新聞

1971年(昭和46年)9月25日土曜日付。まだ日本歯科新聞社が法人化する前に発行された。新聞印刷業界では、昭和中期まで鉛板を使用した凸版印刷が主流だったが、1970年代からコンピュータ組版へと移りゆく時代だった。

水野

開業医や開業を目指す先生方の悩みに寄り添いながら、新鮮でリアルな情報を提案しています。歯科医院経営にまつわるリスクも示しつつ、個々の先生に合った診療メニュー、院内システムなどを構築するお手伝いをしたいと考えています。

特集は取材中心なので、他の雑誌に比べて情報が早いのが特長です。

現場の先生方のみならず、プラークの組成を考察するヒントとして水道管のプラークの話水道屋さんに伺ったり、歯科金属の性質を考えるためにメッキの会社取材に行ったりと、固定概念に縛られない取材姿勢が支持されているようです。

読者はどのような人が多いのでしょうか



水野

『日本歯科新聞』は、歯科医師会の役員を始めとした歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、厚生労働省などの行政関係者、商工

「日刊歯科通信」

毎日ファクスで配信し

ている。

にも制作にも時間をかけています。

——どんな社風ですか

水野 厳しい上下関係や細かなルールはほとんどなく、自由な雰囲気だと思います。社員がやりたい仕事に楽しく取り組むことが、結果として業績につながると私は考えているので、社員からの「こんなことをやってみたい」という提案はできるだけ受け入れるように心がけています。

数字を追うと、読者やクライアント本位ではなく、会社本位になってしまい、かえって企業としてのブランドを損なってしまうと考えているため、売り上げなどの目標設定はしていません。社員が楽しみながら質の高い仕事ができれば、業績アップにつながると信じています。



月刊『アポロニア21』
1994年1月創刊。歯科界初の経営誌としてスタートした。



書籍
リスク管理、医院デザイン等、歯科医院をサポートする経営書が中心。

関係者など、歯科に関わるあらゆる人が対象です。これから歯科に進出しようと思っている企業の方や一般マスコミにも読んでいただいています。

『アポロニア21』は、歯科医療関係者の中でも情報感度の高い人に支持されているようです。開業医が中心ですが、歯科企業関係者や院長夫人、スタッフなどにもファンが多いです。

——出版書籍にも特徴がありますか

水野 主に『日本歯科新聞』『アポロニア21』の連載陣を中心に、長期的に支持される医院づくりをサポートできるような内容を吟味して出版しています。時間のない先生方に、「わかりやすく」情報が伝えられるように、企画



セミナールーム

「駅チカ」「周囲の飲食店の豊富さ」「換気が良好」などにより利用者は多い。

階のセミナールームは20名ほどがゆったり講演を聴くのに適した会議室です。水道橋駅から徒歩3分と交通の便も良く、少人数でじっくり勉強するセミナー、勉強会などにご活用



受託出版

書籍制作のノウハウを活用し、他社の社報や会報、周年記念誌なども制作している。

——どんな社員が多いですか

水野 長所・短所の凸凹の多い人が目立ちます。時々、社外で受け入れてもらえるのか気がかりになることもあるのですが（笑）、短所をなくそうとすると長所もつぶれてしまうと思うので、その人の長所が生かされるような環境づくりを心がけています。

また、好奇心旺盛な人、疑問に思ったことを正面からぶつける人が多いですね。受託出版の仕事などでも、先方の依頼だけをこなすのではなく、自ら積極的に企画に踏み込んで提案させていただくのが当社の特徴だと思います。

——自慢の設備は

水野 自慢というほどではありませんが、3

いただいています。今後は、新聞社という中立性を生かして、新製品発表会、プレスミーティングなどでも活用していただけたらと思っています。

——会社の転機は

水野 今の社屋を購入して移転したことでしょうか。3階にセミナールームを設けたことで、自社セミナーという新しい事業が加わりました。

実際に運営してみると、参加者集めなど大変なことも多いのですが、紙面で伝えられない立体的な情報発信ができるとともに、その場で参加者同士のつながりができたり、セミナーから新しい書籍の企画が生まれたり、出版という業務だけでは得られなかったダイレ

「開業・改装予定」「医院の雰囲気を良くしたい」先生方へ

入場無料



医院 デザインフェア 2018

建築、設計、看板、キャビネット、
アロマ、清掃、絵画、小物 など

5.19(土) 14:00 ~ 19:00
20(日) 10:00 ~ 16:00



ミニ講演会開催

秋葉原UDX4F

会場 **UDX GALLERY**

東京都千代田区外神田 4-14-1 TEL.03-3254-8421

<http://www.dentalnews.co.jp/event/cdf2018/>



交通案内

●電車
JR 秋葉原駅 電気街口より徒歩 2分
つくばエクスプレス 秋葉原駅 A3 出口より徒歩 3分
東京メトロ 日比谷線 秋葉原駅 2 番出口より徒歩 4分
東京メトロ 有楽町線 末広町駅 1 番または 3 番出口より徒歩 3分
●駐車場
収容台数：800 台 24 時間営業
各方面より UDX 2 階アキバブリッジへ、
大型ビジョンより左奥、2F-4F 直通エスカレーターへ。

見て
くらべて
相談できる



主催 日本歯科新聞社 東京都千代田区神田三崎町 2-15-2 TEL.03-3234-2475

医院デザインフェア

建築・設計・看板・キャビネットから、アロマ・清掃・絵画のような医院運営に欠かせない
アイテムを扱ったさまざまな企業が集まった医院のデザインに特化したイベント。

クトなコミュニケーションが広がりました。
—— 今後の課題や展望を教えてください ——
水野 SNS の広がり、働き方改革の推進などにより、対応に苦慮している歯科医院が少なくありません。そのサポートに力を入れていくとともに、弊社自身も、時代に合った情報発信のあり方を模索していく必要があると考えています。
また、一方的な情報発信だけでなく、セミナールームも活用し、情報感度の高い先生方が集う場を設け、良い意味での化学反応を起こせるような仕掛けもしていければと思っています。
中立な姿勢を心がけてきた弊社だからこそできることに、力を入れていきたいですね。

(2021年3月収録)



歯科プロマガジン <https://japandentalnews.com/>

歯科医院経営に役立つ情報が掲載されている。動画、セミナー、おもしろコラムなど満載。

旧きを受け継ぎ

新たな時代へ



株式会社日本歯科新聞社 代表

ミズノ ジュンジ

水野 純治

在任期間：2002年から

出身地：茨城生まれ中学より東京

出身大学：成城大学経済学部卒業

加入団体：神田法人会

——学生時代に熱中したことは

水野 大学時代はテニスとスキーに夢中でした。いつも授業をさぼってテニスばかり。冬休みと春休みはスキー宿に住み込んでアルパイトをし、合間にスキーを楽しんでいました。「とにかく家にいなかった」と家族に言われます。

——心に残っている本は

水野 歴史小説が好きです。

池波正太郎の『真田太平記』『鬼平犯科帳』、吉川英治の『三国志』、山岡荘八の『徳川家康』など。鬼平は私のあこがれのヒーローです。

——モットーは

水野 バランスが取れていること。中立。

——日本歯科新聞社の入社前の職歴を教えてください

水野 1994年に大学を卒業し、地域密着型の金融機関で営業として中小企業、一般家庭を訪問していました。

さまざまな規模・職種の経営を目の当たりにし、顧客の「夜逃げ」も経験しました。この頃は漠然と自分で起業したいという思いを描いていたので、日々勉強でした。

父が日本歯科新聞社の社長でしたが、私は三男（次男は幼少期に他界）でしたので自分が継ぐと思っていませんでした。もし兄が辞めても姉が支えるものと思っていました。

しかし、父が病気で仕事を続けることが危ぶまれた時、兄は祖父の開業した地域紙を引き継いでいましたし、先に日本歯科新聞社で編集者として働いていた姉は経営には関心がありませんでした。そこで、「会社を継がな

ければ」という強い気持ちがあがり、父に頭を下げて入社しました。この年は、転職、結婚、娘の誕生、すべてが起きた年でした。

入社後は、記者、総務、企画などさまざまな業務に取り組み、5年後、父の死去に伴い、31歳で社長に就任しました。

——最大のピンチは

水野 先代の水野治雄が実質的な創業者として、ほぼゼロの状態から、『日本歯科新聞』という専門紙トップの存在を作り上げ、初の歯科医院経営誌も創刊しました。

報道機関としての信頼を着実に築いてきたものの、借金が大きかったのも事実です。もともと金融機関にいた私は決算書が読めたので、父が亡くなり、決算書を見た瞬間、「この会社は倒産する」と追い詰められました。

後から税理士さんに「いやあ、正直つぶれると思ったけど、よくここまでやったよね」と言われるほど、財政面では本当に危機的でした。

——どのように会社を立て直したのですか

水野 先代は会社の経営よりも、ジャーナリスト精神優先のところがありました。また、宵越しの金は持たない典型的な江戸っ子で、まとまったお金があれば、お客さんにごちそうしたり、社員との飲み会に使ってしまったのです。なにせ、会社の最重要行事は花見だったぐらいでしたから……。

そんな状態だったので、会社を継いでからは人の意見を聞く余裕もなく、財政面の立て直しに必死でした。外注経費を削減するため、内製化を進め、コンピュータ化、デジタル

化に早い段階から取り組みました。他にもお金の使い方を全面的に見直し、社員が安心して働けるクリーンな経営を目指して、10年ほどかけてなんとか財政を立て直すことに成功した私にとっては、「ケチ」と言われるのは最高の誉め言葉だと思っています(笑)。

——外注などを減らした他に工夫したことは

水野 『アポロニア21』の創刊当時は、歯科界は経営環境に恵まれており、経営に悩みを持つ先生が少なく、発行部数は低迷。廃刊すべきという意見もありました。しかし、私自身が経営の悩みを多数抱えており、解決のヒントが載っている雑誌があったらぜひ欲しいと思っていました。そのため、スタッフとどうコミュニケーションを図るべきなのかなど、『アポロニア21』の編集企画には、自分

の経営者としての悩みをぶつけていきました。

歯科医院の経営者である院長がどのようなことに悩んでいるかに寄り添う内容は、徐々に評価されるようになり、発行部数が年に2、3割伸びた時代もありました。

——苦しい時、支えになったものは

水野 私は31歳で社長に就任したため、中身が伴わない若輩者ということは自分でもわかっていましたし、会社と社員を背負っていくことに強烈な重圧を感じていました。就任当時は周囲からの声も「先代の気づかいやジャーナリズムは引き継がないだろう」といったものばかりでした。

そんな時、同じく編集長に就任したばかりの水谷とともに、ある歯科関係企業の社長を

訪ね、「どう進んでいけばいいのかわからない」と悩みを打ち明けたところ、「そもそも、あんたたち若造が大したことができるわけないだろう。どんなことでも結果を出すには10年のはかかるんだ」と言われて肩の力が抜けたことをはつきりと覚えています。

また、ある歯科経営コンサルタントの先生に「一時的に成功しても、おごらずに人間力を磨くことが大切」といった経営の正道を教えていただいたことも、本当に大きな支えになりました。

こうしたありがたい人脈は先代が残してくれたものです。一般的に代表が替わると、こうしたご縁は切れてしまうことが多いかと思いますが、「治雄社長にお世話になったから」と温かく接してくださる方が多く、本当にあ

りがたかったです。

また、金融機関から転職した際、年収が100万円も落ちて生活が苦しくなっても、子育てをしながら仕事もして、さらに毎日弁当を作るなどして支えてくれた妻にも感謝しています。

——社外の活動は

水野 日本歯科コンピュータ協会の事務局長を20年以上務めています。また、開業医の近藤隆一先生がチェアマンを務めるスタディーグループ「LDA」には立ち上げから関わり、近年まで事務局長をしていました。

また、日本歯学図書出版協会の会長も6年（2008～2014年6月）務めました。

神田法人会という経営者団体の役員も務めており、経営の悩みがある際に仲間に相談に

乗ってもらえることが心強いです。

——ストレス解消法は

水野 ストレスを感じてもすぐに忘れてしまう性格だと思っています。酒を飲みながら、人と交わるのが好きですし、一人酒も好きです。酒に食べ物を合わせるのではなく、食べ物に合わせるのが私の飲み方で、種類は問いません。出張では、ご当地の食事を楽しんだときに幸せを感じます。

——趣味は

水野 ゴルフ、読書（ノンフィクション・歴史系）、ドライブです。

——尊敬する人物は

水野 父親の水野治雄と『鬼平犯科帳』の長谷川平蔵です。厳しいけれど人情家という人間くさいタイプの方には憧れます。

——今、ほしいものは

水野 会社の使命を果たすことと、経営の安定の両立です。

——社員への思いは

水野 長く勤めている社員が多く、ありがたいと思っています。自分が社長になって採用した社員は自分の兄弟や子どものような思い入れがある一方、私が社長になる前から働いている社員も、未熟な自分を見捨てず支えてくれて本当にありがたいという思いでいっぱいです。

（2021年3月収録）

生涯ジャーナリストを貫く

経営者でありながら



設立者

ミズノ ハルオ

水野 治雄

在任期間：～ 2002 年

生年：1938 年

出身地：東京都北区

出身大学：早稲田大学文学部

所属団体：北区昭和会・その他

仕事

※生前の本人の言動をもとに作成

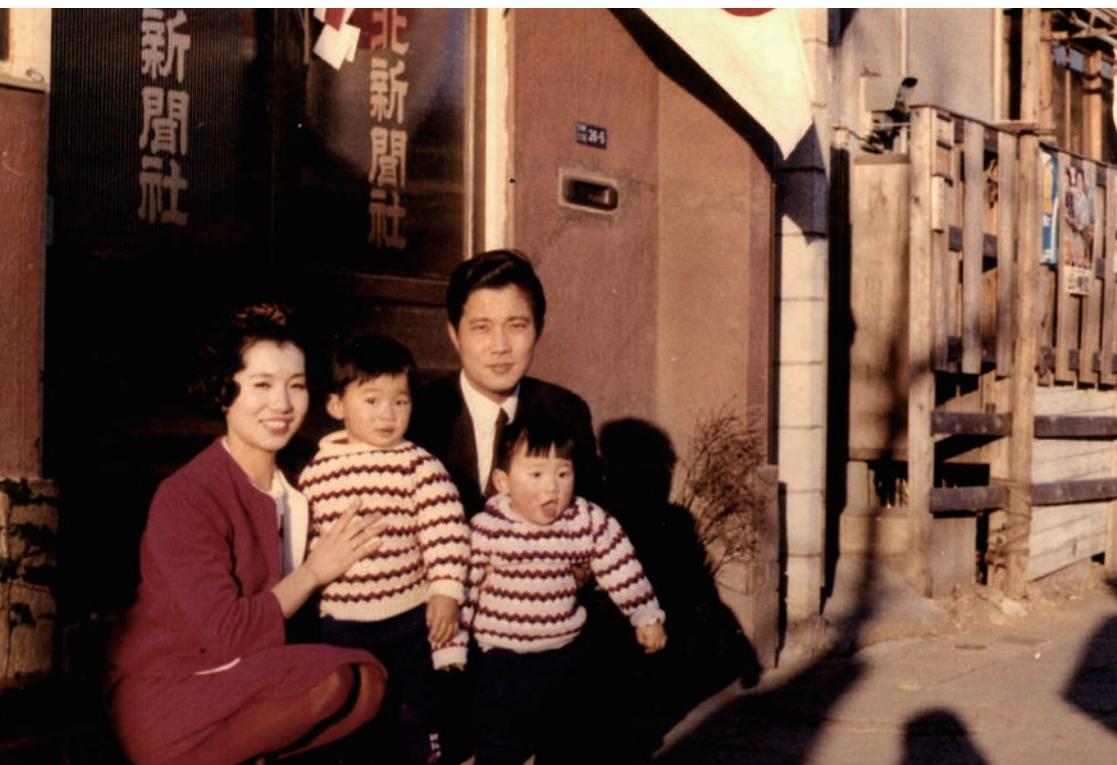
——前職など、仕事の変遷は

水野治雄（以下治雄） 父・秀雄が「都北新聞」という東京都北区の地域紙を発行していたので、その手伝いもしながら、編集プロダクション、ミニコミ紙、フリーの記者等を経て、日本歯科新聞社の前身となる会社に勤めるようになりました。

——お父様の会社を継がなかった理由は

治雄 地域紙は、街づくりを支えることに直結しますから、仕事としては魅力があります。目立たずに埋もれている地域の活動や人物を紙面を通じて応援している親父の背中も見てきましたし。しかし、地域紙は事業規模が小

父の都北新聞社の前にて。



さく、家族を食べさせていくのは難しいんです。母親が苦勞している姿も目の当たりにしてきました。

また、結局はどんな分野でも、政治、学術、文化、商業があるのは同じですし、「そこでも頑張っている人たちを応援したい」「少しでも国民全体が幸せになるよう後押ししたい」という思いであれば、どの場所であっても貢献できると思ったのです。

——創業、社長就任までの経緯は？

治雄 前身である会社の社長から話がありました。もともと、社長就任とともに大借金も一緒に抱えることになり、記事書きより金策に走り回るようになったのですが……。

——仕事をしている上で大事にしていることは

治雄 資金繰り(笑)。楽だったことは一度もありません。駅前で街金のティッシュを配っているのを見ると、どうにもつらい気持ちになります。

——経営者ならではのやりがい

治雄 書いた記事の責任を、最後は自分で取れること。

——「経営のピンチ」に自分の支えとなるものは

治雄 間違いなく人脈。

——社員に求めることは

治雄 歯科の知識はおいおい身についてくるもの。それよりも編集者としてのカン、技量、そして信頼を大事にしてほしい。

——社員に感謝していることは

治雄 いろいろさく言ったがついてきて

治雄 人との縁、交わりですね。歯科に限定しないで、さまざまな人が集えば、新しい発想も生まれるものです。

それから、不器用でも一生懸命頑張っている人を応援したいですね。

——どんな情報を発信したいと考えているか

治雄 患者さんを犠牲にして金儲けを教えるような記事は載せたくありません。まじめに患者さんのことを考えている歯医者さんに読んでほしいです。

——経営者として成し遂げた意義深いと感じていることは

治雄 正しかったかどうかはわかりませんが、その時その時真剣に、会社や歯科界、国全体のことを考えてきたのは確かでしょう。

——経営者の立場がつらいと感じるときは

くれたのは、とてもありがたいことです。

——後任社長へのメッセージは

治雄 自分で考えたことをどんどんやってみればいい。

プライベート

——好きな食べ物や飲み物は

治雄 酒でも甘いものでも何でも好きですが、少しずついろんなものを食べたいですね。しいて言えばおでんのつまれです。

——健康法・ストレス解消法は

治雄 同級生と集まって話すことかな……。それと、庶民的な赤ちようちんで一杯。馴染みの店を2、3軒はしごする。

——趣味や特技は(過去、現在)

治雄 川釣りです。茨城に住んでいた時には子どもを連れて近くの小貝川へ、東京に戻ってからは小田原の川などによく一人で行きました。しかし、釣ったものを食べるのは苦手で、帰りに全部放してきます。

——尊敬するタイプは

治雄 義理人情に厚く、スケールが大きな人。

——肌に合う場所やパワースポットは

治雄 下町の気取らない雰囲気が好きですね。出張先で一番良かったのは新潟の街かな。

——自慢の持ち物は

治雄 見事に何もありません。

——地域での活動は

治雄 地元の東京都北区で、「昭和会」という集まりを開いていました。今でいう異業種交流会ですが、政治家や地元の信用金庫の理

事長など、街づくりに深くかかわっている人が多かったので、区の政策にずいぶんと影響を与えたと思います。

区議もたくさんいましたが、政党はバラバラでもみんな仲良くやっていました。この会では、本音で言いたいことを言い合っていましたね。

長い間、小中学校の同窓会、同期会の幹事も務めました。小中学校の仲間とは60歳の還暦祝いの時に、ハワイのホノルルマラソンに出ました。その当時はだいぶ足腰も弱っていたので、私は気分だけ味わうつもりで参加したのですが、身体に障害のある人が懸命に走っている姿に背中を押され、ときには仲間身体を支えてもらいながら、何とかハーフを完走しました。

子ども時代

——どんな子どもだった

治雄 一言でいえば悪がきだったと思いますよ(笑)。

——学生時代熱中したことは

治雄 中学では水泳、高校では新聞づくり、大学では学生運動。今の若者には理解できないでしょうが、あの時はみな真剣だったんですよ。

——家族への感謝は

治雄 きちんとした給料を家に入れられたことがありませんでした。会社の支払いを優先し、残ったお金を渡していたので、妻は大変だったと思います。

水野治雄 追悼文

(2002年12月3日号・17日号
『日本歯科新聞』より一部抜粋)

〈歯科関係者の声〉

厳しさの中に優しさも

日本歯科新聞社の水野治雄社長が逝去された。まだ64歳の若さなのに、残念の極みである。

早稲田大学文学部の学生時代は学生運動のリーダーとして名を馳せた方だと聞くと、厳しさのなかにも優しさがある人だった。

新聞の価値を教わった

水野氏とは、時々、思わぬ所で突然出会うことの不思議さを感じていた。淡々と会話を交わす人なのだが、会った後には必ず記事に結びついている。仕事熱心な人で「新聞を書く」ということは、大変な責任と哲学がないと書けないのだなあ」と、この人から新聞の価値を教わった。

新聞は関係者、または記事の相手の承諾を得ずに書く。社会的責任を持ち、細心の注意を払って、社会即ち読者の反応を念頭に置きながら記事を書くということとの難しさ、言葉の表現の厳しさがある。従ってその情報の価値は、取材に要した交通費や人件費などの実費以外に大きな付加価値を生み出すものだ。

反骨精神を貫いた人

反骨精神を貫き、狭い歯科界で、おかしいことをおかしいと言える貴重な人物だった。

義理人情、気配りの人

赤ちようちんで一杯が水野社長のトレードマーク。とにかく義理と人情、気配りの人だった。

尊く美しい生き方だった

水野社長には、権力や既成の価値観に迎合しないジャーナリストとしての「気骨」がありました。商業紙の経営者でありながら、なおかつジャーナリストとし

て「圧力に負けず信念を貫く」ということは、困難が多かったことと思います。

だからこそ！尊い美しい生き方だったのです。

〈社員の声〉

命より「人」が財産

社長は、お酒、たばこ、山本周五郎や藤沢周平などの人情小説、そして、何より会社と社員が好きでした。

「宵越しのお金は持たない」「曲がったことは嫌い」とまさに江戸っ子気質そのままに、会社の資金繰りで頭を悩ませているときでも、出入りの業者などから生活に困っている話が出たりすると、我が身を顧みずに、帰る際、人づてに密かにお金を渡すことも少なくありませんでした。

人情の世界に憧れ、お世辞にもお金を残すことが上手でなかった社長が、「人のつながり」というお金に換え難い大きな財産を残したことを、葬儀に訪れた700人の参列者が示してくれました。

突然の雷雨が……

社長の口癖は、新入社員に日本歯科新聞・「縮刷版」を渡し、「歯科界のオピニオンリーダーたれ、フィロソフィーを持って、うちは専門紙だ胸を張れ」、そして「酒は自分の金で飲め」でした。

また、仕事に慣れ態度が傲慢、怠惰になってきたときには、真夏の空に突然雷雨が襲うような叱咤をよく受けたものでした。しかし、それは本当に一瞬で、すぐに「さあ飲みに行くぞ」と真っ青な青空へ虹をかけてくれました。

会社員の前に編集者

新聞の制作がかなり進行した段階でも、ギリギリのところまで、「新しい記事に差し替えて、全面組み直せ」の社長のひと言で、今までの作業があえなく無駄に終わることもザラにありました。常に会社員ではなく、それぞれひとりの編集者としての行動が求められたのです。

もちろん、社員は、少なからずグチをこぼすことがありましたが、いつの間にか編集者としてのあり方を体で教え込まれた気がします。

ムリを強いることの多い一方で、出張中の記者がいれば、その間ずっと気にかけて、帰れば真っ先に声をかけました。

水野社長ほど、社員を怒鳴り、また愛した社長はいないのでないかと思えます。

人のもてなしが好き

桜が咲く頃になると「花見の会」をよく開いていました。実際は「飲み、食べ、おしゃべりする会」で、水野社長は自ら買い出しに行き、前日から「おでん」をつくりはじめるので、社内はおでんのおいでで充満し、染み込むほどでした。

「もつ煮込み」「から揚げ」「お好み焼き」「焼きそば」「蜆汁」などなど。とにかく食べきれないほどの食べものを用意し、「ビンゴゲーム」「歌」「手品」と盛りだくさんの趣向をこらし、人をもてなすのが

好きでした。

そうした時の社長はニコニコしながら、皆がワイワイと賑やかにしているのを見て満足そうでした。

在りし日の社長を偲んで詠める

魚釣り かかった獲物に深情

もう一杯 その一杯で恵比寿顔

財産は 金では計れぬ義理人情

友達に 掛けた情は百萬両

もうやめた 今日から禁煙もう一本



水野家代々の菩提寺である平林寺（埼玉県新座市）に社員の有志で墓参りしたときのスナップ。



あなたの医院・会社の**歴史**や**強み**を 日本歯科新聞社が**本**にいたします！

どんなときに……？

≫ 大事な節目に！

周年記念・新社屋建設
事業継承 など



≫ 名刺代わりに使える！

大事な患者さんや
銀行・顧客に

≫ 新しいスタッフに渡す！

院長の人柄や
歴史を知ってもらえる

一般的な社史との違いは……？

まずは
お気軽に！

- 34 ページ（基本）だから手軽に作れる
- 安心のパッケージ価格
- 「文章書くのは苦手！」という方へのオプションも用意
- 基本 88 万円（税込）
歯科医院サービス価格 77 万円（税込）

資料請求の
お申し込みは

電話 **03 (3234) 2475**
メール **book-pro@dentalnews.co.jp**

発行日 2021 年 5 月 20 日
発行 株式会社日本歯科新聞社
東京都千代田区神田三崎町 2-15-2
電話 03 (3234) 2475
FAX 03 (3234) 2477
制作 株式会社日本歯科新聞社 制作局



くわしくはウェブで！